


ようこそ、持続的共発展教育研究
センターの教育プログラムへ！
-新しい学理、教育、そして人財を生み出す-
Welcome to Education Program by
“Education and Research Center for
Sustainable Co-Development”(SusCoDe)
-Generation of new scientific principle,
education method and human resources-

持続的共発展

検索 

<http://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp/>

「科」の「学」だけでは 環境問題に対応できない！

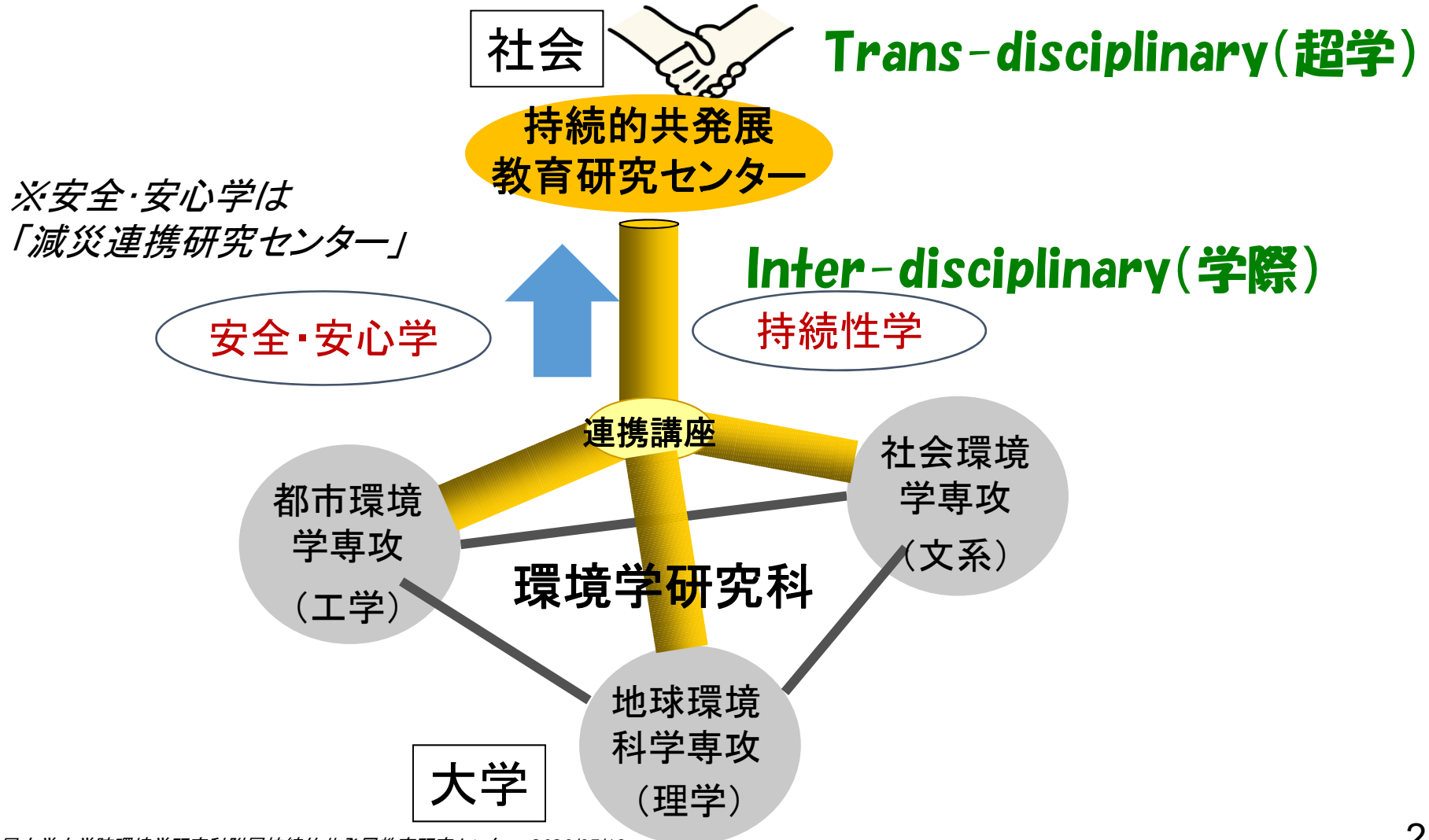
Miscellany of detailed academic disciplines
cannot solve environmental issues.

- 環境問題 = 自分たちの周辺の問題(の総合)
The environment is a series of problems around ourselves.
 - ✓ 様々な事象が分野横断で複雑に結びついている
 - ✓ 実験室と違って都合のよい仮定は設定できない
- 細分化された個別学問分野では視野が狭すぎる
Detailed discipline's perspective is narrow.
 - ✓ 固有の視点から鋭利な分析を提供できる場合も
 - ✓ しかし的外れな視点になることも。分野間相反も
- 大学に閉じこもってではそれを実感できない
We cannot feel inside university.
 - ✓ その方が論文は書けても、社会と乖離

持続的共発展教育研究センターの位置づけ

-トライアングルからテトラポットへ-

Positioning of "Education and Research Center for Sustainable Co-Development"(SusCoDe)



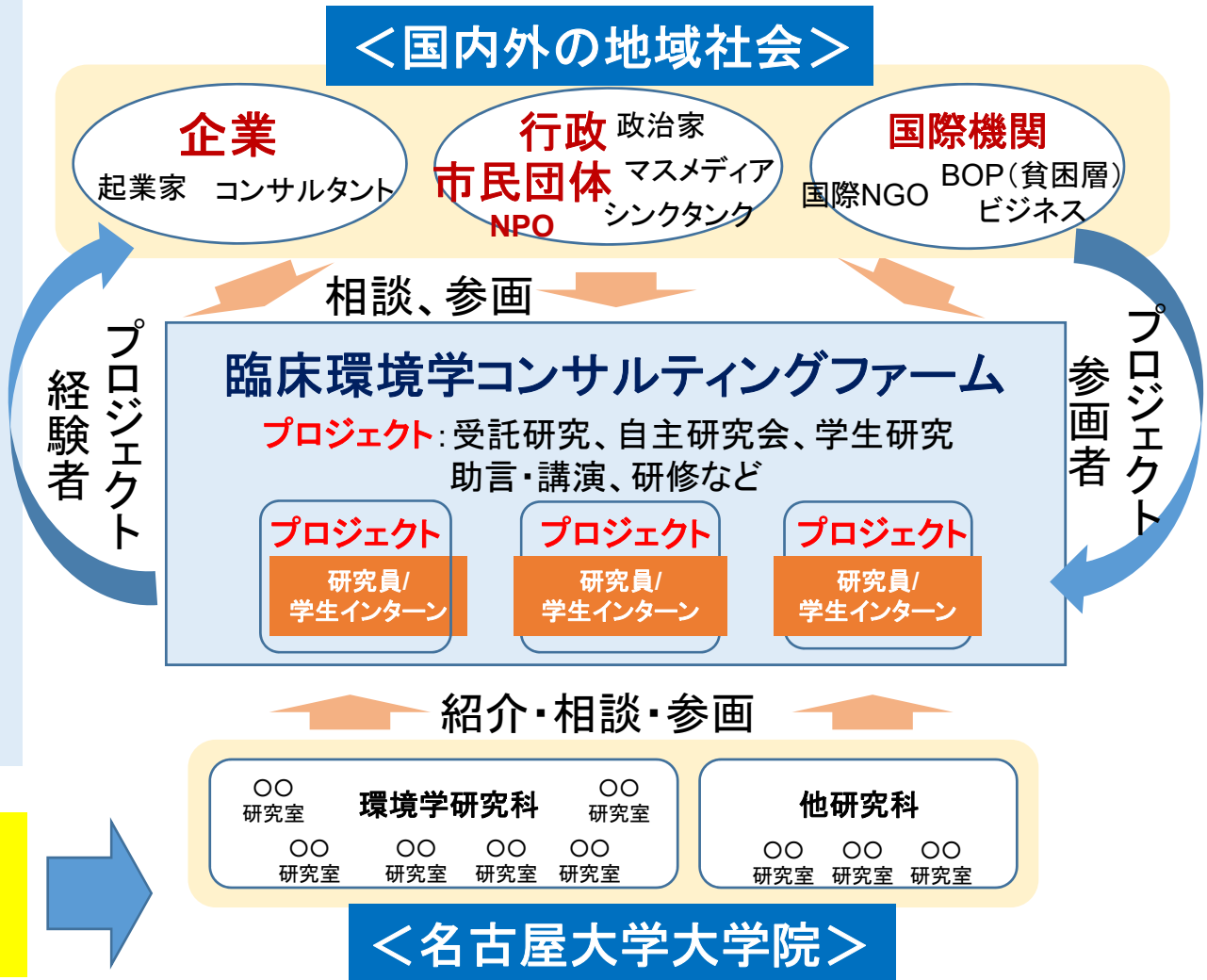
臨床環境学コンサルティングファーム

-社会と大学研究者との「お見合い」の場-

Consulting Firm for Clinical Environmental Studies

- 企業・行政、市民などの皆様の**ワンストップ相談窓口**！
- 地域と大学の共同研究・**協力活動を創り出す場**！
- 新たな環境人材の育成と**キャリア開発**の機会！

そのために
大学内の横連携！



6 研究科連携ESDプログラム

Nagoya University Education for Sustainable Development Program by 6 Graduate Schools

<http://www.nuesd.env.nagoya-u.ac.jp/>

The logo for the Nagoya University Education for Sustainable Development Program. It features a pink background with various icons related to sustainability (solar panel, bicycle, wind turbine, globe, etc.). The text includes: '2020 年度 名古屋大学大学院 6 研究科連携 ESD プログラム' and 'Nagoya University Education for Sustainable Development Program'. A central diagram shows six overlapping circles representing the participating graduate schools: 環境学 (Environmental Studies), 国際開発 (International Development), 生命農学 (Life and Agricultural Sciences), 工学 (Engineering), 経済学 (Economics), and 人文学 (Humanities). The text '6 研究科連携 Education for Sustainable Development プログラム' is placed in the center of these circles.

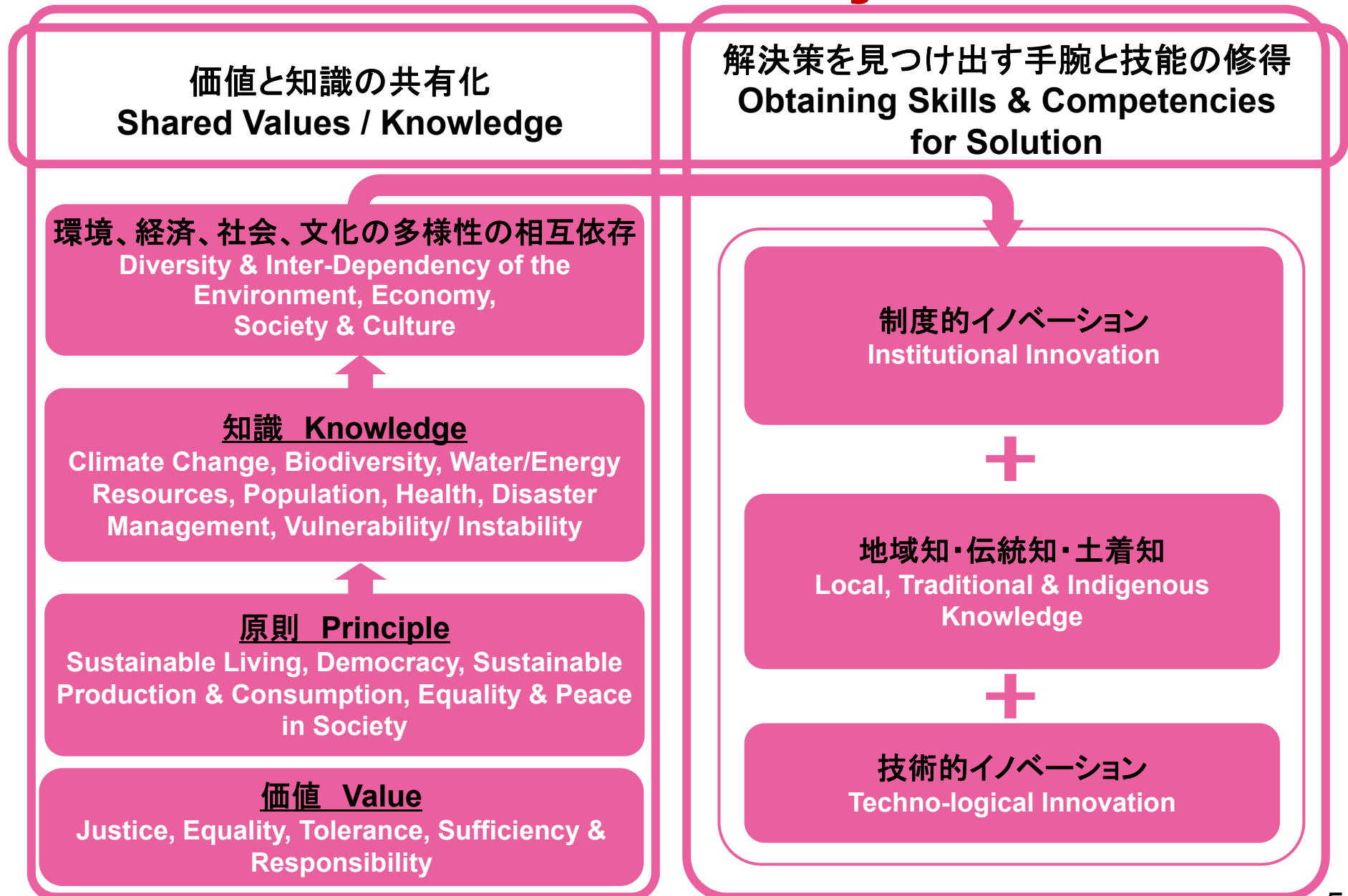
2020 年度
名古屋大学大学院
6 研究科連携
ESD
プログラム
Nagoya University
Education for Sustainable Development Program

環境学
国際開発
生命農学
工学
経済学
人文学
6 研究科連携
Education for
Sustainable
Development
プログラム

持続可能な発展・研究に関係する約60の講義について、他の研究科のものも受講でき、単位を取得することができます。

2020年度 名古屋大学大学院 6 研究科連携ESDプログラムの体系

FY2020 The ESD Consortium Program Mechanism



国連「持続可能な開発目標」 (SDGs: Sustainable Development Goals)



あらゆる貧困を撲滅し、誰一人取り残すことなく持続可能な社会へ変革するための2030年にむけた17のゴール。
2015年に国連が採択。

- 環境学研究科では、ESDプログラムの講義とSDGsとの関連を示す表(右下)を、Webサイトで公開しています。
参考にして下さい。

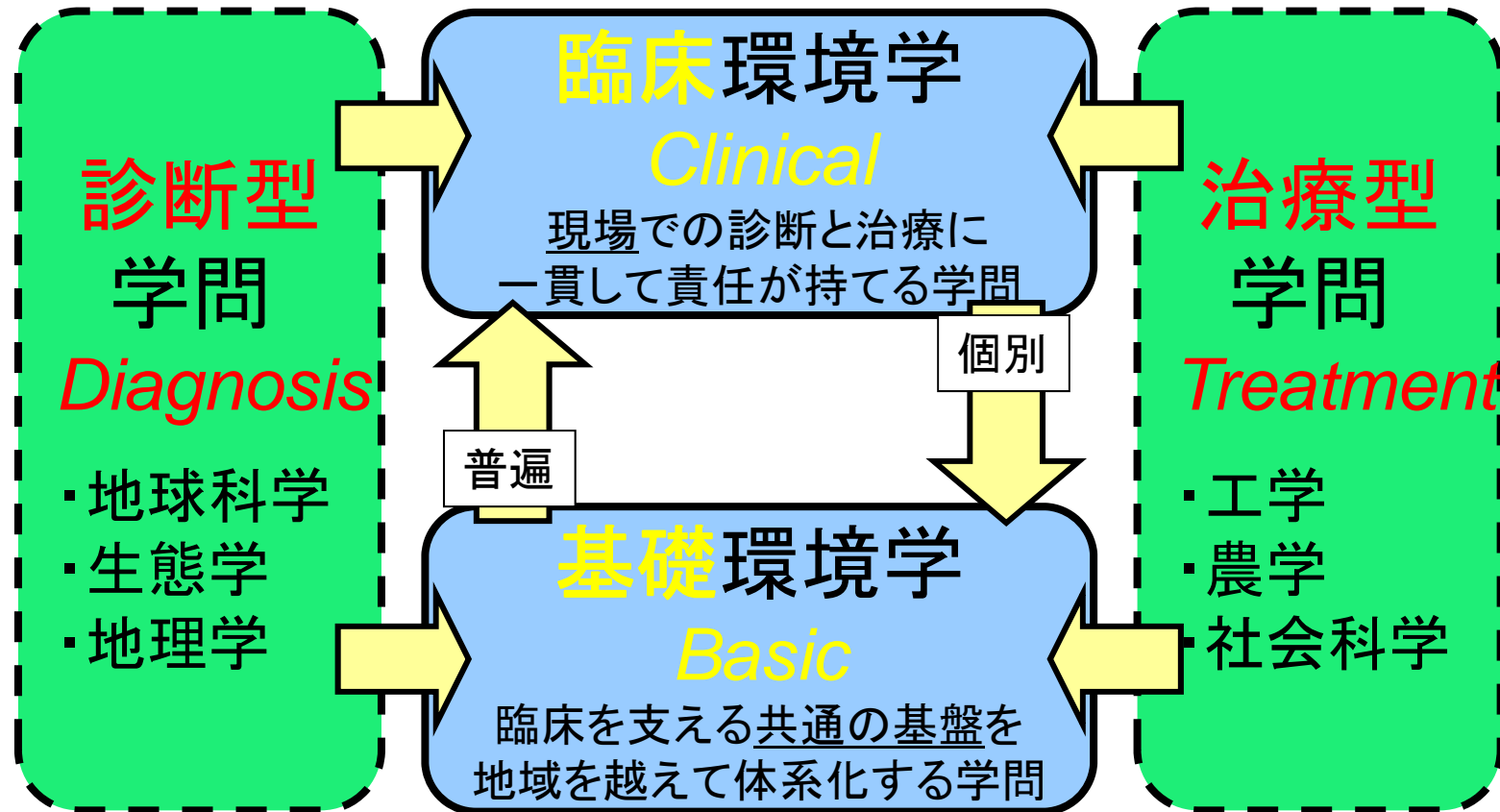
http://www.nuesd.env.nagoya-u.ac.jp/pdf/sdgs/ESD2020_SDGs.pdf

2020年度名古屋大学6研究科連携ESDプログラム
FY2020 Nagoya University ESD Consortium Program with 6 Graduate Schools
環境学研究所 (Graduate School of Environmental Studies)

授業科目	Course Title	授業科目	学年	学期	担当教員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境学フィールドセミナー	Field Seminar on Environmental Studies	環境学	H 1,2	春学期	山口 隆雄 (代)																		
生態学概論	Ecology	環境学	H 1,2	秋学期	飯野 浩典, 梶野 耕一, 藤田 隆, 山本 隆夫																		
持続可能な開発入門	Introduction for Sustainable Development	環境学	H 1,2	秋学期	飯野 浩典, 藤田 隆, 山本 隆夫, 梶野 耕一, 山本 隆夫																		
持続可能性と環境学	Sustainability and Environmental Studies	環境学	H 1,2	秋学期	山口 隆雄, 梶野 耕一, 山本 隆夫																		
水の環境学	Studies on Water Environment	環境学	H 1,2	春学期	山口 隆雄																		
資源・エネルギーの環境学	Environmental Studies on Natural Resources and Energy	環境学	H 1,2	春学期	飯野 浩典																		
持続可能な地域づくり実践セミナー	Practical Seminar on Sustainable Local Communities	環境学	H 1,2	春学期	飯野 浩典, 藤田 隆																		
総合防災論1A (自然編)	Science and Technology for Disaster Mitigation 1A (Natural Hazard)	環境学	H 1,2	春学期	飯野 浩典 (代)																		
総合防災論1B (社会編)	Science and Technology for Disaster Mitigation 1B (Social Disasters/Disasters)	環境学	H 1,2	秋学期	飯野 浩典, 梶野 耕一, 山本 隆夫																		
総合防災論2 (減災編)	Science and Technology for Disaster Mitigation 2 (Disaster Mitigation)	環境学	H 1,2	秋学期	飯野 浩典 (代)																		
総合防災論3A (実践編1)	Science and Technology for Disaster Mitigation 3A (Practical Actions for Disaster Mitigation I)	環境学	H 1,2	春学期	飯野 浩典																		
総合防災論3B (実践編2)	Science and Technology for Disaster Mitigation 3B (Practical Actions for Disaster Mitigation II)	環境学	H 1,2	秋学期	飯野 浩典																		
地質学概論	Introduction to Geology	環境学	H 1	秋学期	Franc Andre Humboldt特別授業																		
低炭素都市学	Low Carbon Cities Studies	環境学	H 1	春学期	山口 隆雄 (代)																		
水・廃棄物管理概論	Water and Waste Management Policies	環境学	H 1	春学期	山口 隆雄, Victor Muturica 特別授業																		
環境都市システム論	Environmental Urban Systems	環境学	H 1,2	秋学期	山口 隆雄																		
環境コミュニケーション	English Communication in Environmental Issues	環境学	H 1,2	春学期	山口 隆雄, Chun Sohyun 特別																		
環境学英語特別講義1	Special Lecture on Environmental Studies (English language) 1	環境学	H 1,2	秋学期	梶野 耕一																		
環境学英語特別講義2	Special Lecture on Environmental Studies (English language) 2	環境学	H 1,2	秋学期	梶野 耕一																		
地球惑星科学概論	Introduction to Earth and Planetary Sciences	環境学	H 1,2	春学期	山口 隆雄, 梶野 耕一																		
国際化概論	Global and Urban Wellness	環境学	H 1,2	秋学期	山口 隆雄 (代)																		
すまいと環境	Housing and Environment	環境学	H 1,2	秋学期	山口 隆雄 (代)																		
環境政策論	Environmental Policies and Strategies	環境学	H 1,2	春学期	山口 隆雄																		
環境の倫理	Environmental Ethics	環境学	H 1,2	秋学期	山口 隆雄																		
基礎環境学研究1	Courses and Research Instruction in Basic Environmental Studies I	環境学	D 1,2	春学期	飯野 浩典, 藤田 隆, 山本 隆夫, 梶野 耕一, 山本 隆夫																		
基礎環境学研究2	Courses and Research Instruction in Basic Environmental Studies II	環境学	D 1,2	秋学期	飯野 浩典, 藤田 隆, 山本 隆夫, 梶野 耕一, 山本 隆夫																		
臨床環境学研修1	On-site Research Training in Clinical Environmental Studies I	環境学	D 1,2	春学期	飯野 浩典, 藤田 隆, 山本 隆夫, 梶野 耕一, 山本 隆夫																		
臨床環境学研修2	On-site Research Training in Clinical Environmental Studies II	環境学	D 1,2	秋学期	飯野 浩典, 藤田 隆, 山本 隆夫, 梶野 耕一, 山本 隆夫																		
国際環境法	International Environmental Law	環境学	H 1,2	春学期	山口 隆雄																		
環境法	Environmental Law	環境学	H 1,2	秋学期	山口 隆雄																		
環境政治	Environmental Politics	環境学	H 1,2	春学期	山口 隆雄																		
環境政策セミナーA	Environmental Politics Seminar A	環境学	H 1,2	春学期	山口 隆雄																		

臨床環境学®と基礎環境学

Clinical & Basic Environmental Studies



※「臨床環境学®」は、名古屋大学の登録商標です。

博士後期課程の皆さんへ

統合環境学 特別コースで 学んでみませんか？



気軽に
参加してみよう！



統合環境学特別コース *Integrated Environmental Studies Course* :

- ◎博士後期課程向け。どの専攻に所属していても参加可能
- ◎異分野の学生・教員とともに、環境問題について多角的に考えることができる
- ◎持続的共発展教育研究センターが提供

「俯瞰力」と「現場力」

Skill for “Overlooking” & “Acting real fields?”

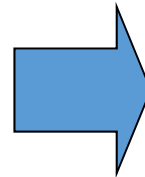
- **基礎**・『俯瞰力』: Think globally
 - 様々な立場や価値観があることを理解し、旺盛な好奇心を持てる力
 - 幅広い視野を持って状況を把握できる力
- **臨床**・『現場力』: Act locally
 - どこに放り出されても対応できる分析力とコミュニケーション力
 - 状況を把握し伝える力(診断)
 - 調査や意見交換を通じて適切な処置を提案し実施できる力(処方・治療)

ORTの流れ：「俯瞰力」「現場力」をつける！

Flow of ORT to improve the skill for
"Overlooking" & "Acting real fields."

1.事前検討<大学>
Pre-discussion (univ.)

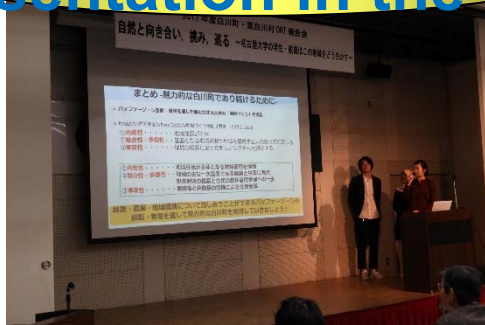
異分野・多国籍
メンバーで検討



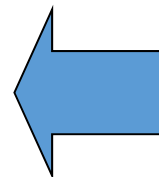
2.全員調査<現地>
Research by all members



4.発表<現地>
Presentation in the field



「診断」「処方」を示す
Diagnosis & Prescription



3.個別調査<現地>
Research by each group

- チーム・テーマを決定
- 現場で調査・分析を企画・実施

「目からウロコ」 See the light!

基礎・臨床環境学に関する授業：後期課程

Doctor course program of Basic and Clinical Environmental Studies (ALL: Japanese and English)

統合環境学特別コース *Integrated Environmental Studies Course*

- **On-site Research Training (ORT): 臨床環境学研修1・2** (2 credits)
- **On-campus Seminar: 基礎環境学講究1・2** (2 credits)

※臨床環境学研修1・基礎環境学講究1の単位を修得すると、特別コース修了証(certificate)が得られる

※これらの授業は博士(環境学)の単位取得要件<他専攻科目の単位取得が必要>に使える

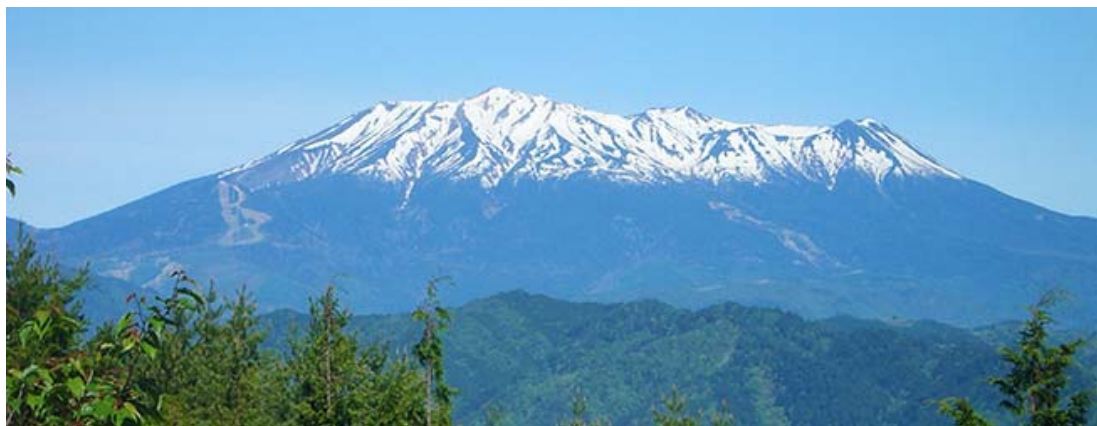
※RA募集あり



Let us begin the journey of clinical environmental studies!

2019・20年度のフィールド:木曽町(長野県)

ORT Field in FY2019 and 2020: Kiso town (Nagano pref.)



御嶽山 Mt. Ontake



↑ ORT2019 の現地研修、ワークショップの写真



出典: 木曽町ホームページより

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 2020/05/16

Let us begin the journey of clinical environmental studies!



**2019年度のフィールド: 長野県木曾町(木曾川上流)
ORT Field in FY2019: Kiso-machi, Nagano Pref.**

ORTの日程（2019年度）

Schedule

※今年度はコロナウイルス感染拡大のため再調整中

月	行事	内容
4/24(水)	立ち上げ会合	概要説明、グループ分け
5/14(火)	準備会合	各個人の興味に応じた対象地域に関する発表
6/4(火)	定例打合せ	現地見学会の準備
6/13(木) ～15(土)	現地見学会 (スタディツアー)	2泊3日で現地を訪問し調査・ヒアリング
6～11月 (毎月 1回程度)	個別調査・分析	各グループで個別に実施
	定例打合せ	各グループの進捗状況確認
9月	学内中間発表会	データ収集状況や成果・知見について発表
11月	学内最終発表会	研究結果について発表
12/7(土)	現地研究報告会	地域の皆様に研究成果を見ていただくとともに議論し、今後の調査研究へつなげる
1～3月	最終報告書作成	報告書として形に残し、地域にも手渡す

最終報告会（2019年12月7日開催）

Final report conference in Kiso town



日時：12月7日（土）13:30～16:30（開場13:00）
会場：木曽町文化交流センター（長野県木曽郡木曽町福島5129番地）
 入場無料・事前申込不要

プログラム

- 13:30 開会・開催挨拶 原 久仁男（木曽町長）
西澤 泰彦（名古屋大学 環境学研究科長）
- 13:40 「臨床環境学」研修（ORT: On-site Research Training）について
- 13:50 木曽町・臨床環境学実習の報告—名古屋大学教員
- 14:05 御嶽山研究に関する報告—名古屋大学大学院環境学研究科地震火山研究センター
國友 孝洋 特任准教授
- 14:20 木曽町・臨床環境学研究の報告—博士課程学生 カレギィ マルジャン
- 14:45 研究・取組み内容ポスター展示（休憩）
- 15:00 総合討論「知り合おう 木曽町へ来た人・迎える人」
 討論者：中 恒美（日義地域協議会長） 木村 耕紀（移住サポートセンター）
 大目 富美雄（開田高原倶楽部） 坂下 佳奈（地域おこし協力隊）
 カレギィマルジャン（名古屋大学 学生） 宮坂 隆文（名古屋大学 助教）
 コーディネーター：加藤 博和（名古屋大学 環境学研究科 教授）
- 16:30 閉会・閉会挨拶 山口 靖（名古屋大学 環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター長）



主催：名古屋大学 大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター
 後援：木曽町
 問い合わせ：持続的共発展教育研究センター事務局（柿元・杉山）TEL: 052-747-6547



統合環境学特別コース参加で何が得られるか？

What do you get by joining our course?

exiting! interesting! and cool!

- コミュニケーションが得意になる(対人、対自然)
- 異分野・一般社会での知り合いが増える
- 視野が広がる
- 日本のことがわかる

すなわち「俯瞰力」と「現場力」

- 「ただの博士・修士」は上記のスキルは不要
「何か新しいことをやらかす博士・修士」になる
- 「専門の研究者」以外のキャリアパスを拓く
究極の狙いどころは「起業家」「政治家」の輩出
つまり、世の中をいい方向に変える人！
いま、世界がそういう人を求めています！

持続的共発展

検索



2019年度 木曾町 ORT 報告会

名古屋大学の学生・教員がふれた木曾町の魅力

求む！ 地球と地域を救おうとする
高い志と強い意志をもった学生



We expect the participation of students with high motivation and strong will. Let's tackle!

共に創る 持続可能な社会

途上国と先進国 自然と人間 農山漁村と都市 大学と社会

<http://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp/>

質問・相談は、こちらへどうぞ。

If you have any questions or consultation, please contact us.

持続的共発展教育研究センター（杉山・柿元）

Education and Research Center for Sustainable Co-Development
(N.Sugiyama, Y.Kakimoto)

TEL: 052-747-6547

cesfirm@ercscd.env.nagoya-u.ac.jp